

12月23日 2学期終業式 校長講話

全校児童のみなさん、おはようございます。校長先生から2学期終業式のお話をします。

今日の終業式もそうですが、校長先生が一区切りの時に、いつもみなさんに伝えたいと思うのは「辛い（ねざらい）」の気持ちです。これまでも何度か話してきた言葉なので、上級生は意味を覚えてくれている人もいるかなと思いますが、いろいろと大変なこともあったと思うけど、それにくじけず、よく頑張ってくれてありがとう、そういう気持ちです。

児童のみなさんのように子どもであっても、先生たちのように大人であっても、毎日を生きていると楽しいことばかりではないですよ。どちらかというと大変なことのほうが多いと思います。だけど、楽しいことを増やしたり、人として成長したりするためには、いろいろと大変なことをくじけずに頑張りがつづけることは、どうしても必要で大切なことです。だから、この2学期の4か月間、いろいろと大変なこともあったと思うけど、それにくじけず頑張ってくれたみなさんに、心から拍手をおくりたいと思います。よく頑張りました。ありがとう。きっと、楽しいことが増えるのにつながるはずだし、きっと人としての成長につながるはずですよ。

ふりかえってみると、この2学期は以前に比べて、コロナでできないことはずいぶん減りました。

校長先生は姫島小学校の校長先生になって3年目ですが、これまでの2年間の一区切りの時には、コロナでたくさんできないことがあって残念だという話ばかりしてきたように思います。一斉休校といって全部の学校がお休みになることもありました。分散登校といって2つにわけて登校しなければならないこともありました。時間短縮といって3・4時間目しかできないこともありました。オンライン授業を家で受けてもらうこともありました。そんなことがあった時に比べると、この2学期は、コロナがなくなったわけではないけど、ほぼ通常通りの学校生活をすごすことができ、授業も行事もたくさんの活動をすることができました。本当に良かったと校長先生は思います。大きな行事だけをふりかえっても、運動会・全校遠足・学習発表会・それぞれの学年の社会見学・卒業遠足と盛りだくさんです。たくさん経験をすることができました。1つ1つの経験を大切に覚えておいてくださいね。

さて、明日からは17日間の冬休みです。この後、生活指導の先生から詳しいお話があるかと思うので、校長先生から同じような話をするのはやめておきます。だけど、1つだけ。新年は新しい気持ちになれるよい機会です。ぜひ、新しいうさぎ年の1年に本当になんげたい目標、心の励みにしてますます頑張れるような目標、そんな素敵な目標を決めてみてください。これを新年の抱負といいます。どんな素敵な目標を決めたのか、3学期が始まったら、ぜひ、クラスで先生や友達と教えあってみてください。校長先生にも教えてくれるとうれしいですよ。

それではみなさん、よいお年をお迎えください。3学期に会えることを楽しみにしています。